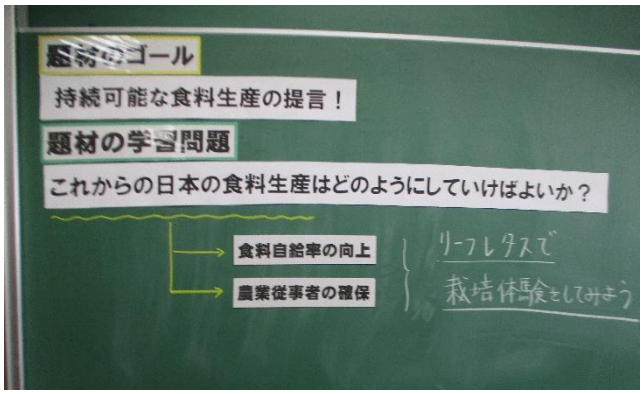
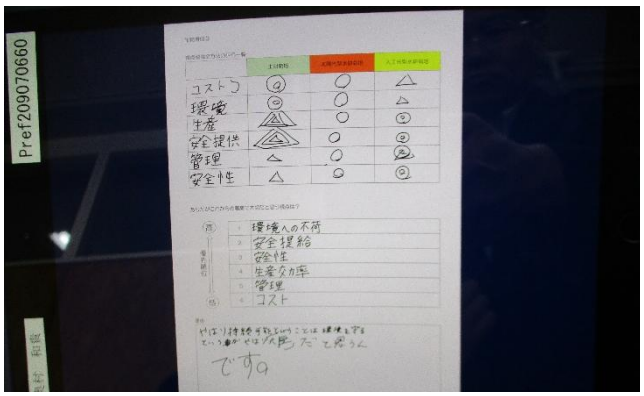
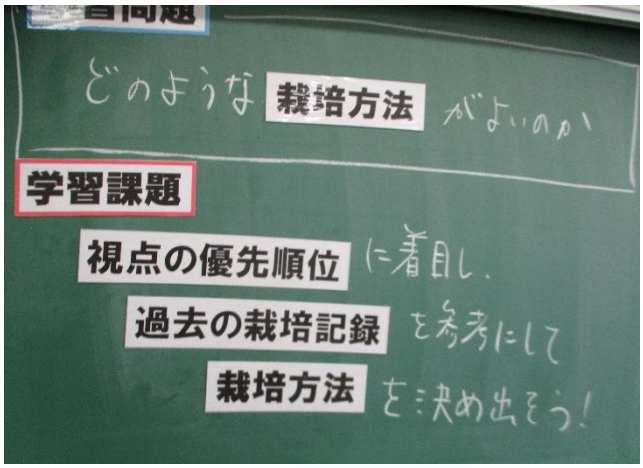
５月 14 日　１年生の技術は、飯綱町の農業の実態をもとに「これからの日本の食糧生産はどのようにしていけばよいか？」というテーマを設定して、グループでリーフレタスの栽培方法を決める場面です。

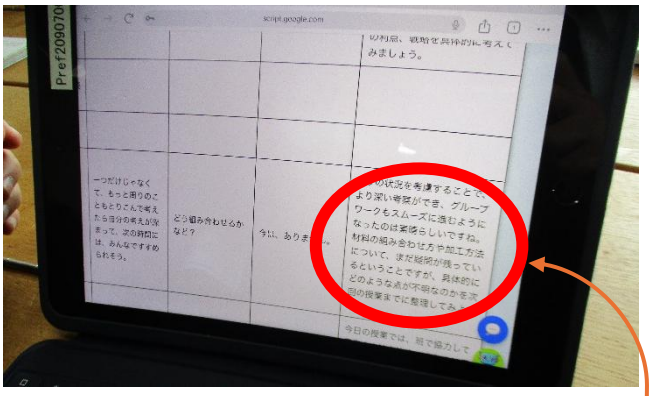




生徒は、前時「土耕栽培」「太陽光型水耕栽培」「人工光型水耕栽培」の３つの栽培方法について「生成 AI」を使って調査していました。



班ごとに、昨年の栽培記録を参考にしながら、３つの栽培方法について「コスト」「環境負荷」「生産効率」「安定供給」「管理」「安全性」の視点から話し合い、一番適切な栽培方法を決めました。



班ごとの話し合いで決定した栽培方法が発表では、太陽光型が一番多く、次に人工光型でした。決定できない班もありましたが、各班からの決定理由を聞く中で、「コスト」や「環境負荷」に注目して、太陽光型と人工光型を組み合わせて作りたいという新しい栽培方法が考え出されました。

授業後の生徒は「わかったこと」「疑問」「さらに追究したいこと」を「振り返りシステム」に書き込みます。すると…生成 AI が即座にコメントを返してくれました。（すごい！！）生徒は、それを読みながら授業の成果や次時の課題を確認していました。このシステムは生徒のやる気を引き出す秘密兵器です。